
アフガニスタン

りの。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アフガニスタン

【コード】

N8942Z

【作者名】

りの。

【あらすじ】

そこへ行くと、いろんな模様やなんかがあるが、目の奥にちらつくことになる。

突然僕はアフガニスタンのことが書きたい気持ちになった。

といっても、僕はアフガニスタンのなにかをこれといって知ってるわけでないし、興味もない。

けれど僕はこの時どうしてもアフガニスタンのことを書かなくちゃ気が済まない気がして、書くことにしたんだ。

僕の書いたアフガニスタンはこんな感じだ。

とてつもない草原があたり一面に生い茂っていて、それでいてその草々はみんなかれちゃって、薄い金色をしていたんだ。風はとってもあつたかくって、しかもそこには鶏がときどきいるんだ。時を忘れるほど歩くと突然海岸にぶちあたる。海岸までたどりつけるのはひとによつて大きく時間が違う。ある人はすぐにたどりつくし、ある人は本当に自分が何の目的で前を歩いているのか忘れたところにぶち当たる。

その海岸はとても古くて、水辺だけでも今は見ない生き物がたくさんいるんだ。

見たこともない貝や、とてつもなく大きく形が少し違うザリガニや、たくさん脚をもったものやなんかが、ぱっと見ただけでも点々としているんだ。

その海温はとてもあたたかい。

おそらく君も一度足首にまでその海につかっってしまうと、もう後戻りはできないだろう。そこから前へ、もっとつかりたいと思っせずんずん進んで行ってしまっだろう。

それくらい、古い時間が流れている海の水なんだ。そんな水にひたっってしまうと、僕はそんな強大な力にはどうすることもできなくて、ただただなりゆくように進むしかできないんだ。

こうして多くの人々がその海へ吸い込まれていった。

海の前にはなにがあるか？

それは陸に決まってる。

頭まで、もつともつと深くつかって、ずっと行って、もう無理だと思っただころに、急に陸につくんだ。

その陸はとても古い。海と同じくらい古い。

そこにもいろいろなもの住んでるんだけど、それは帰ってきた人がいないから、なにも言えないことだ。

それが、アフガニスタンという場所なんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8942z/>

アフガニスタン

2011年12月28日01時54分発行